

1 はじめに

全国学力・学習状況調査について

目的：全国的な教育の機会均等と教育水準の維持向上を図る観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握し、分析を行い、教育施策及び教育指導の成果と課題の検証や、その改善に役立てる。

全国学力・学習状況調査（以下全国学テ）は、文部科学省が平成19年度から毎年4月に実施している全国の小中学生（小6と中3）の学力と学習状況の実態を把握する調査です。「学力調査」と「学習状況調査」があります。

2 「学力調査」から見えてきた清水小の子どもたちの姿

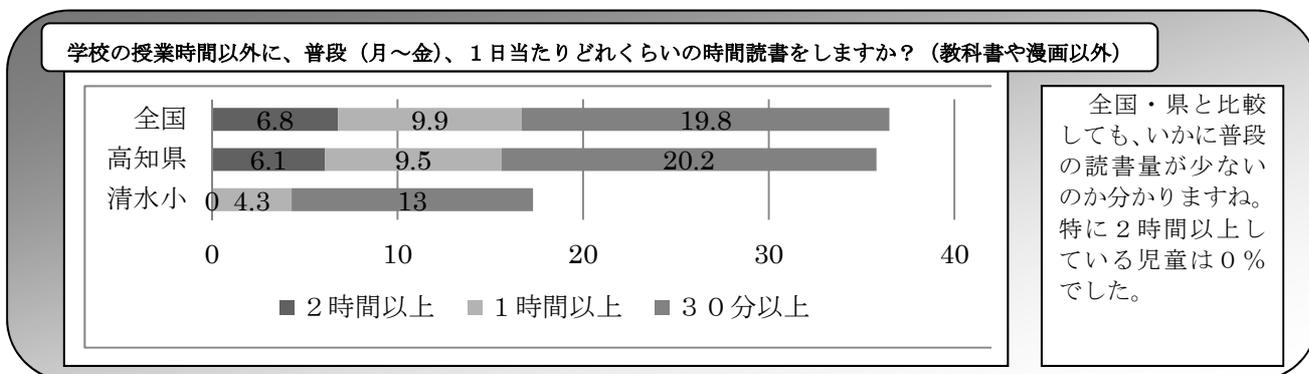
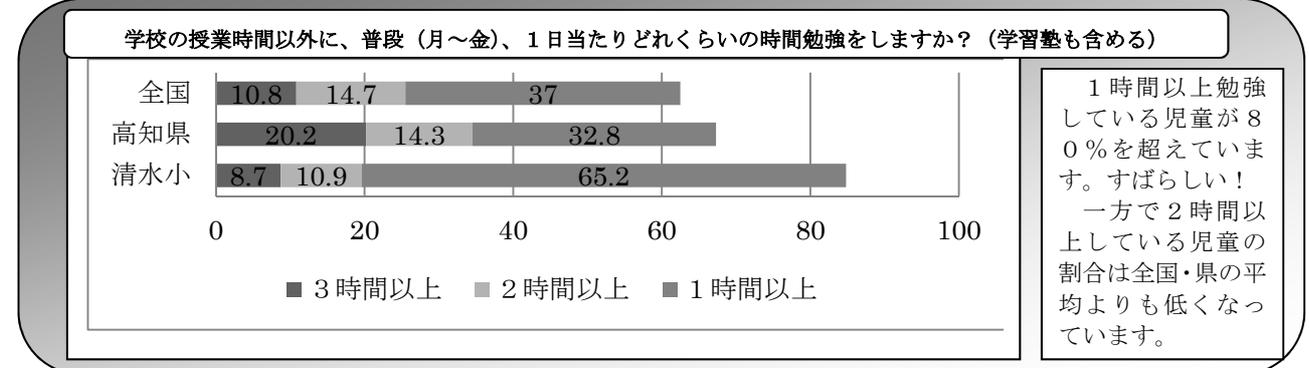
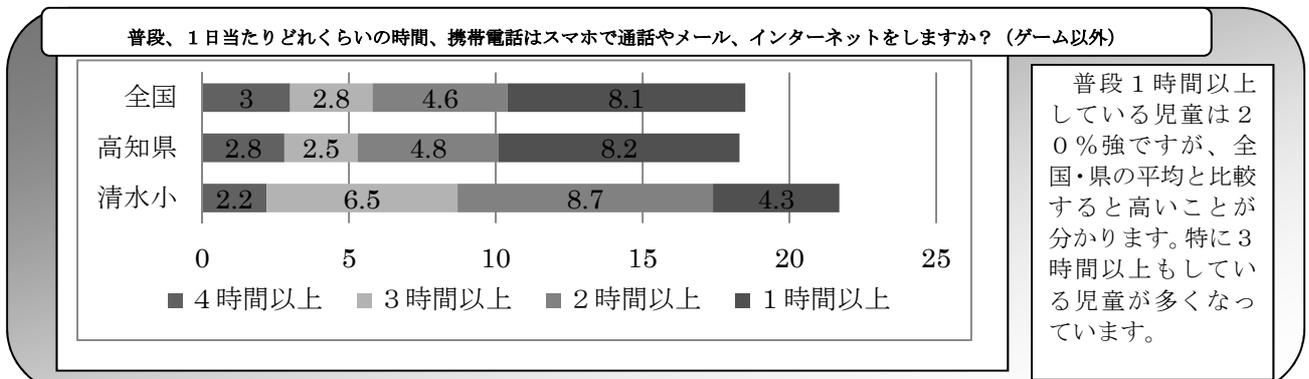
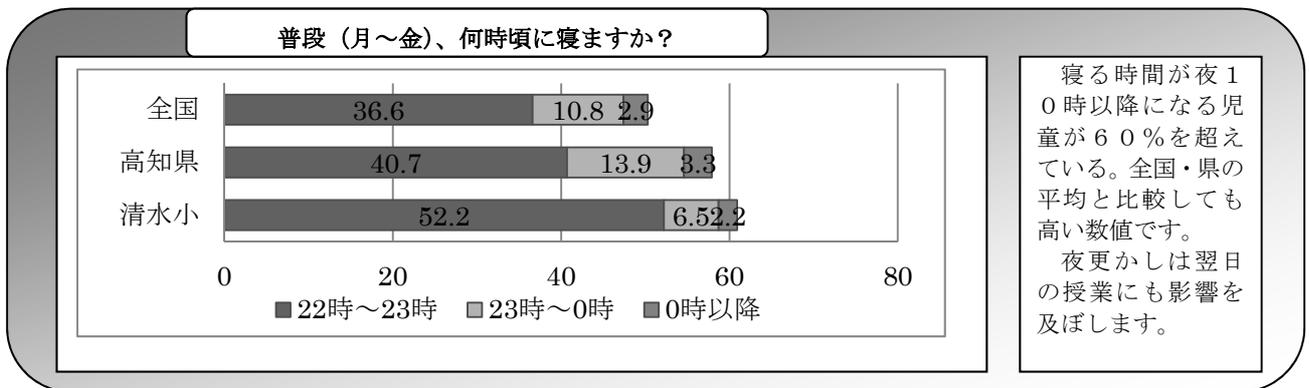
学力調査は、基礎的な知識・技能を問う「A問題（国語）（算数）」と知識・技能の活用力を問う「B問題（国語）（算数）」があります。特にB問題が全国的な課題となっており、清水小も例外ではありません。今年度は、国語Aは全国平均を上回り、算数Aもほぼ全国平均並みの結果でしたが、国語B、算数Bともに全国平均を下回っていました。

そこで、清水小では全学年で知識・技能の底上げを図りながら、活用力（思考力・判断力・表現力）を育成する方策や支援等を進めています。

	特に正答が多かった問題	特に誤答が多かった問題
国語A	<p>◎漢字を読む 快晴→かいせい 貯金→ちよきん 省く→はぶく (校内正答率：90.6%、全国平均：86.7%)</p> <p>国語の基礎基本の一つである漢字の読み取りはよくできています。書き取りの方も比較的よくできていました。但し、ローマ字の表記については課題が残っています。</p>	<p>◎学年集会「めざせチャンピオン・じゃんけん列車ゲーム」のルール説明を、友だちの助言に従って訂正した文章を読み、友だちの助言内容を選択する。 (校内正答率：52.2%、全国平均：67.4%)</p> <p>書く目的や意図に応じた文章構成や表現になっているかどうかについて具体的に助言することに課題があります。</p>
国語B	<p>◎複数の資料をもとに、パン職人になった経緯を読み取り、正しい答えを選択する。 (校内正答率：76.1%、全国平均：77.9%)</p> <p>目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することができます。</p>	<p>◎グラフを基に夜十時までに寝る人の割合を読み取り、口内に的確にまとめる。 (校内正答率：37.0%、全国平均：43.4%)</p> <p>グラフを基に文章と関係付けながら、分かったことを的確に書くことに課題があります。</p>
算数A	<p>◎四則計算をする。 $905 - 8$、$4.65 + 0.3$、$18 \div 0.9$、$(2/9) \times 3$ (校内正答率：92.4%、全国平均：83.1%)</p> <p>算数の基礎基本の一つである四則計算はよくできています。但し、除法の意味理解や小数の除法におけるあまりの出し方には課題が残っています。</p>	<p>◎バスに乗っている人数は、定員より20%多い60人です。定員をもとにしたときの乗っている人数の割合を百分率にし、テープ図に表す。 (校内正答率：34.8%、全国平均：50.9%)</p> <p>1を超える割合を百分率で表す場合の基準量と比較量の関係をおさえることに課題があります。</p>
算数B	<p>◎1辺が9cmの正方形の縦を1cm短くし、横を1cm長くしたとき、面積がもとの正方形より1cm²小さくなるか調べるための式を立てる。 (校内正答率：93.5%、全国平均：92.6%)</p> <p>問題場面に示された条件を基に他の正方形について検討し、同じまじりが成り立つのかを調べることができています。</p>	<p>◎三角定規二つで作った二等辺三角形の最大角を合わせていくと、二等辺三角形三つで一つの正三角形ができるが、このことが成り立つ理由を示した式：$360 \div 120 = 3$の360、120が何を表しているか記述する。 (校内正答率：4.3%、全国平均：6.9%)</p> <p>示された除法の式と並べてできた形を関連付け、角の大きさを基に、式の意味を理論的に記述することに課題がある。</p>

3 「学習状況調査」から見てきた清水小の子どもたちの姿

生活習慣や学習環境等に関するアンケート調査です。内容は将来の夢や自尊感情等自己に関わるものから、「早寝・早起き・朝ごはん」「テレビ・DVD・ゲーム」「SNS、インターネット」等の生活習慣、「宿題」「読書」等の学習習慣、「きまりを守る」等の規範意識、或いは学校や学級、教科への関心等々多岐に渡ります。特に、学力の活用力と密接に関係する「読書」については、本校の大きな課題と言えます。



4 終わりに

これらの調査結果を踏まえて、子どもたちの確かな学力と豊かな心を育てていくために、学校や家庭でできることを確認しながら、学校・保護者・地域が連携しながら、同じ方向で、子どもたちの育成に取り組んでいきましょう。これからも力強いご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

学校長